

移住のカタチ

きちゃった!♥南伊勢



このコーナーは移住定住コーディネーターが南伊勢町へ移住された方（I・Uターン）や移住者を受け入れる側を取材して紹介していくコーナーです。

今回はIターン者を紹介する「きちゃった南伊勢」です。



今日は贅浦の市川^{いちかわ}里文^{りぶん}さんを紹介します。市川さんは昨年、1月に愛知県一宮市から旦那様と小学生の娘さんと一緒に南伊勢町に移住しました。



市川さんが大好きな贅浦の前浜で

西川：こんにちは。市川さんとは移住される際に、空き家バンクの案内などで色々とお話させていただいていますが、今日は改めてインタビューよろしくお願いします。

市川さん：はい、よろしくお願いします。

西川：まず、市川さんが移住先として南伊勢町を選ばれた理由を聞かせてください。

市川さん：きれいな自然に惹かれたのが一番ですね。元々“定年退職した後にでも移住したい”と希望していたのですが、コロナで勤めていた会社が事業縮小することになり、転職するかどうか・・・と考えている時に、たまたま見ていたテレビで西川さんが移住のことを話していて、それが南伊勢町を知ったきっかけなんです（笑）。そこからイン

ターネットなどで町のことを調べて、空き家バンクで家を探して問い合わせをしたんですけど、何度か訪れるうちに、目の前に海があるお家に出会って「ここに住みたい!」と思ったんです。

西川：空き家バンクでそのお家を購入されて、きれいにリフォームされましたよね。

市川さん：いいお家なので、なるべく雰囲気を変えないようにリフォームしました。以前、裁縫教室をしていたということで、「ここへ習いにきとったんさ」と話してくださる方も多いんですよ。地域の方がこうして声をかけてくれる事もすごく有難いですね。

西川：私も同じ贅浦に住んでいますが、通り沿いにあるお家に灯りがついて、雰囲気が明るくなっていいなあと感じています。住み心地はいかがですか？

市川さん：目の前が海、夜は静かで波の音が聞こえて、星がきれい。安らぎを感じられる場所ですね。

西川：娘さんの千裕^{ちゆう}さんの学校生活はどうですか？前に通っていた小学校は1学年に200人以上もいたんですってね。

市川さん：こちらは全校生徒がお友達？みたいな感じですかね、千裕も楽しんでいるようです。驚いたのは、初日に全校生徒で歓迎会をしてもらったことでした。私自身も愛知にいた時より、千裕のお友達とも保護者の方とも濃いお付き合いをさせてもらっています。

西川：それは良かった。お仕事もママ友さんから紹介してもらったんですよね。

市川さん：そうなんです。お家もそうですけど、仕事もトントン拍子に見つかって、やはり何かご縁があるのかなって感じています。今後は防災や祭りなど地域のこともお手伝いできたらいいなあと思っています。

西川：ありがとうございます。ぜひ！また色々とお手伝ってください！

市川さんご家族と贅浦の前浜で撮影をしました。千裕さんに「学校はどう？」と聞くと「楽しい〜!」と元気いっぱい返事をしてくれました。



市川ファミリー

問い合わせ先 まちづくり推進課 若者定住係 ☎0599-66-1366